

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2022年			
6月 23日(木)～24日(金)	第27回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会	横須賀	本号
24日(金)	山本和夫 東京大学名誉教授 Lee Kuan Yew Water Prize 受賞記念講演会	金沢	本号
7月 9日(土)～10日(日)	Water and Environment Technology Conference Online 2022 (WET2022-online)	オンライン	本号
21日(木)～22日(金)・ 25日(月)～27日(水)	第46回基礎化学工学演習講座(第1, 2クール)	オンライン	本号
8月 10日(水)	第31回市民セミナー【学会設立50周年記念事業】 スマホ等身近なツールでできる環境研究と環境学習	オンライン	本号
9月 1日(木)～3日(土)	第24回 日本水環境学会 流域物質動態とノンポイントソース 研究委員会「ワークショップ in 京都・芦生演習林」	京都	本号
5日(月)	日本水環境学会設立50周年記念講演会, 式典	東京	本号
6日(火)～7日(水)	第25回日本水環境学会シンポジウム	東京	本号
11日(日)～15日(木)	IWA World Water Congress & Exhibition 2022	コペンハーゲン	本号
10月 26日(水)～28日(金)	11th IWA International Symposium on Waste Management Problems in Agro-Industry (AGRO' 2022)	ポーランド	本号
2023年			
3月 15日(水)～17日(金)	第57回日本水環境学会年会	愛媛	
4月 17日(月)～21日(金)	10th International Conference on Acid Deposition, ACID RAIN 2020 ～ The Future Environment and Role of Multiple Air Pollutants	新潟	本号

会員登録データ変更の届け出について (お願い)

住所、所属変更等、本会に登録されているデータに変更のあった場合には、ホームページの会員専用ページ (<https://www.jswe.or.jp/member/>) よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方、登録アドレスを忘れた方は、メール (member@jswe.or.jp) または Fax にてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎(4月→3月)の扱いで、退会のお手続きがない場合には、自動的に会員登録が継続となります。

また2013年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は、満65歳以上で、水環境関連分野に従事、または関心を有し、本会に対し功労のあった個人を対象とするもので、学会コミュニティにおいて、継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会WEBサイト (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) をご覧ください。

本会関連行事

Water and Environment Technology Conference Online 2022 (WET2022-online)

日本水環境学会主催の国際会議“Water and Environment Technology Conference”をオンラインにて開催いたします。会議での発表に合わせて、Journal of Water and Environment Technology (JWET) への論文投稿を受け付けております。詳細は本会ホームページにてご確認ください。

主催 日本水環境学会

期日 2022年7月9日(土)～10日(日)

内容 オンライン開催

発表方法

WET2022-onlineの発表は、事前提出ポスターのWEB掲載と当日のオンライン(Zoom)発表で行います。事前提出ポスターの提出期限は6月24日(金)を予定しており、作成および提出方法は“Notification of acceptance”およびWET2022-onlineのwebページに記載予定です。当日のオンライン発表はショートプレゼンテーションと、数人ずつがブレイクアウトルームで質疑を受けるQ&Aセッションで行います。詳細はWET2022-onlineのwebページに掲載予定です。

表彰

Excellent Paper AwardをJWETへ論文投稿した発表者から選出し表彰します。Excellent Presentation Awardは、事前にポスターファイルを提出し、当日、オンラインにて発表した発表者から選出します。

参加登録

事前に参加申込を行って入金した方のみが参加できます。WET2022-onlineのwebページにて、2022年6月30日(木)24:00までに参加申込を行い、7月1日(金)までに入金してください。

参加費

	Participant	Speaker
一般	5,000 JPY	5,000 JPY
学生	3,000 JPY	3,000 JPY

振込先

名義が異なる場合は、必ず別途ご連絡をお願いします。

振込先銀行：三菱UFJ銀行市ヶ谷支店

普通預金 口座番号：4948527

名義：公益社団法人日本水環境学会

名義カナ：シャ)ニホンミズカンキョウガクカイ

郵便振替：00180-5-564127

加入者名：(公社)日本水環境学会

問い合わせ先

WET事務局

E-mail: wet@jswe.or.jp Fax: 03-3632-5352

日本水環境学会設立50周年記念講演会、式典

主催 日本水環境学会

期日 2022年9月5日(月)14:00～16:15

場所 一橋講堂 東京都千代田区一ツ橋2丁目1-2

プログラム

日本水環境学会設立50周年を記念して以下のイベントを開催致します。

14:00～15:00 特別講演会

東京大学未来ビジョン研究センター教授
高村ゆかり氏

15:15～16:15 設立記念式典

参加申し込み方法、参加申込締切等は後日学会HPに掲載予定。プログラムは変更となる可能性があります。

問い合わせ先

(公社)日本水環境学会50周年行事担当事務局

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

Tel: 03-3632-5351

E-mail: 50th.anniv@jswe.or.jp

第25回日本水環境学会シンポジウム 発表申し込み案内

第25回日本水環境学会シンポジウムについては、下記の要領により、ハイブリッド形式での開催を予定しています。

各研究委員会主導のプログラムで実施されますが、多くの研究委員会で発表を公募しておりますので、積極的に発表申し込みをしていただきますようお願いいたします。また、50周年特別企画、メタウォーター賞受賞者講演のほか、大学院博士後期課程の研究奨励を目的とした若手研究紹介(オルガノ)セッションなど、多彩な企画が用意されています。

多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

1. 概要

期日：2022年9月6日(火)～7日(水)

会場：東京大学本郷キャンパス(現地参加・オンライン参加のハイブリッド開催を予定)

内容：50周年特別企画、各研究委員会等の主催によるセッション、若手研究紹介(オルガノ)セッション、メタウォーター賞受賞者講演ほか。懇親会は開催しません。

2. 研究発表の募集

セッションを予定している研究委員会、セッション題目、公募の有無、連絡担当者は別表のとおりです。発表を希望される方は、直接、連絡担当者にお申し込みください。

申込期限：2022年6月28日(火)(必着)

応募資格：原則として本会会員に限ります。

第 25 回日本水環境学会シンポジウム 別表

研究委員会名	セッションタイトル	開催 期日	公募	連絡先
嫌気性微生物処理	脱炭素社会構築に寄与する嫌気性技術の貢献と課題	7日 AM	有り	西村文武 (京都大学) Tel : 077-527-6225 Fax : 077-524-9869 nishimura.fumitake.3n@kyoto-u.ac.jp
MS 技術	環境リスク把握のためのMS技術の進展と活用	6日 AM	有り	松村千里 (兵庫県環境研究センター) Tel : 078-735-6911 Fax : 078-735-7817 jswe-ms@ee-net.ne.jp, matsumura-c@hies-hyogo.jp
生物膜法	生物処理生態工学技法の高度効率化による環境再生保全と流域適正管理	7日 PM	なし	稲森悠平 (NPO 法人バイオエコ技術研究所) Tel : 090-3203-4853 inamori@gmail.com
身近な生活環境	プラスチック社会と身近な水環境を振り返る	7日 AM	有り	寺崎正紀 (岩手大学) Tel : 019-621-6703 terasaki@iwate-u.ac.jp
微生物生態と水環境工学	微生物の代謝フロンティア	6日 PM	有り	伊藤 司 (群馬大学) Tel : 0277-30-1632 Fax : 0277-30-1632 t.ito@gunma-u.ac.jp
バイオアッセイによる安全性評価	水環境における農薬の生態リスク評価の現状と今後の課題	6日 AM	なし	山本裕史 (国立環境研究所) Tel : 029-850-2754 Fax : 029-850-2870 yamamoto.hiroshi@nies.go.jp
水中の健康関連微生物	微生物学的水質情報を活用した水環境・衛生管理の最前線	7日 AM	有り	原本英司 (山梨大学) Tel : 055-220-8725 eharamoto@yamanashi.ac.jp
湿地・沿岸域	湿地・沿岸域の今と未来	7日 PM	有り	藤林 恵 (九州大学) Tel : 092-802-3423 m.fujibayashi@civil.kyushu-u.ac.jp
流域物質動態とノンポイントソース	流域の水物質動態と社会・生態系の関わり方の探究	6日 PM	有り	佐藤祐一 (琵琶湖環境科学研究センター) Tel : 077-526-4044 Fax : 077-526-4803 sato-y@lberi.jp
膜を利用した水処理技術	膜による事業継続を考える ～膜と生きる～	6日 AM	有り	大和信大 (メタウォーター株式会社) Tel : 052-856-1205 Fax : 052-856-1405 yamato-nobuhiro@metawater.co.jp
紫外線を利用した水処理技術	水環境分野における紫外線応用の新知見	7日 AM	有り	志賀淳一 (メタウォーター株式会社) Tel : 070-6593-7646 Fax : 0968-64-3380 shiga-junichi@metawater.co.jp
産業排水の処理・回収技術	2030年を見据えた産業排水の処理・回収技術	7日 AM	有り	小松和也 (栗田工業 (株)) Tel : 070-4508-6390 k.komatsu51@kurita-water.com
電気化学的技術	環境エンジニアリングにおける電気化学的技術	7日 AM	有り	小森正人 (株式会社ヤマト大和環境技術研究所) Tel : 027-290-1865 Fax : 027-290-1897 Komori_Masahito@yamato-se.co.jp
熱帯・亜熱帯地域水環境	地球温暖化を巡る水環境の現状・課題と対応	6日 AM	なし	宮城俊彦 ((元) 沖縄県衛生環境研究所) Tel : 090-9785-3051 miyagto571123@yahoo.co.jp
農産業に関わる水・バイオマス循環技術	農産業に関わる水・バイオマス利用の技術とシステム	6日 PM	なし	赤尾聡史 (同志社大学) Tel : 0774-65-6578 sakao@mail.doshisha.ac.jp
将来の水環境変化に対応した水供給システム	水供給システムにおけるリスク及び不確実性とその対応策	6日 PM	有り	滝沢 智 (東京大学) Tel : 03-5841-5241 Fax : 03-5841-8532 takizawa@env.t.u-tokyo.ac.jp
汽水域	地球温暖化を巡る水環境の現状・課題と対応	6日 AM	なし	山室真澄 (東京大学) Tel : 04-7136-4770 Fax : 04-7136-4756 yamamuro@edu.k.u-tokyo.ac.jp
地域水環境行政	地域からの発信～水環境研究で明らかになった新事実～	6日 PM	有り	見島伊織 (埼玉県環境科学国際センター) Tel : 0480-73-8353 Fax : 0480-20-7031 mishima.iori@pref.saitama.lg.jp, sympo@jswe-local.org
マイクロプラスチック	マイクロプラスチック研究の最前線, 分析手法の最前線	6日 PM	有り	大塚佳臣 (東洋大学) Tel : 049-239-1417 y_otsuka@toyoy.jp

非会員で発表希望の方は、連絡担当者にお問い合わせください。

注：「若手研究紹介（オルガノ）セッション」が別表とは別に設定されますが、これについては、別項「2022年度博士研究奨励賞候補者募集」を参照ください。

3. 原稿作成・投稿方法

原稿枚数：A4版1～2枚（図表込み）とします。

原稿書式：書式・投稿方法は当学会ホームページをご参照ください。https://www.jswe.or.jp/event/symposium/pdf/Sympo_youryou.pdf

提出期限：2022年8月9日（火）（必着）

4. 発表形式

発表はシンポジウム形式を原則とし、1演題10～20分としますが、時間配分の詳細は各研究委員会に一任されています。

5. 参加申し込み

シンポジウム参加申し込み案内は本誌6月号に掲載予定です。発表者も必ず参加申し込みをしてください。

2022年度 博士研究奨励賞（オルガノ賞） 候補者募集

応募対象者

本年3月末時点で35歳以下の本会会員のうち、博士後期課程大学院生、もしくは2021年1月1日以降に博士後期課程において学位（博士）取得した者で、第25回日本水環境学会シンポジウム（2022年9月6～7日）の若手研究紹介（オルガノ）セッションに於いて発表可能な方が対象者となります。

ただし、2021年度以前に同賞を受賞された方は対象になりません。

応募方法

以下の書類を2022年6月28日（火）（締切厳守）までに、電子ファイルとして提出してください。

(1) 論文（A4用紙4頁～6頁）

博士研究奨励賞（オルガノ賞）候補者募集情報<https://www.jswe.or.jp/awards/organo/index.html>に記載の「博士研究奨励賞（オルガノ賞）応募論文原稿執筆および発表要領」および「原稿書式」を参照してください（英文もあります）。論文は、博士後期課程における研究成果をまとめたものとしますが、原著論文でも、また既発表の内容を含んだものでも構いません。また原著論文の場合、他雑誌への投稿を本学会が妨げるものではありません。この論文は一次選考においてのみ使用し、シンポジウム講演集には掲載しません。一次選考通過者には別途、講演集掲載用にA4用紙1ページの要旨を提出していただきます。

(2) 関連する研究業績リスト

次の通り、分けて記載をお願いいたします。

- 学術雑誌論文（水環境学会誌、Journal of Water

and Environment Technology, Water Research など）については、応募者が第一著者のものとする他に分けて記載してください。また、当該論文の査読の有無を明記してください。

- 国際会議講演集（Proceedings など）については、IWA主催のものとする以外のものに分け、発表者を明記してください。

- 国内学会講演集については、本学会関連のものとする以外に分け、発表者を明記してください。

(3) 大学卒業以降の履歴書

(4) 当学会の会員番号

注) 応募までに、入会手続きを終了し、会員番号を取得している必要があります。

選考方法

提出された論文、関連する研究業績リストに基づき、一次選考を行います。一次選考の結果は、7月末までに、電子メールにて通知いたします。研究業績に関しては大学院生が不利にならないよう、研究期間を加味して評価を行います。

一次選考を通過した方は、第25回日本水環境学会シンポジウムの若手研究紹介（オルガノ）セッション（9月6日）にて発表をしていただき、発表審査を行います。書類選考と発表審査結果を総合的に評価し、博士研究奨励賞受賞者を決定いたします。表彰は翌7日午後に行います。1次選考通過者にはシンポジウム参加に当たり、交通費、宿泊費および参加費が補助されます（第25回シンポジウムでは懇親会は開催されません）。一次選考通過者のA4用紙1ページの要旨の提出期限は通常のセッション要旨と同じです。

応募書類送付・問い合わせ先

（公社）日本水環境学会シンポジウムオルガノセッション係
Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkaicom@jswe.or.jp

第25回日本水環境学会シンポジウム 参加申し込み案内

第25回日本水環境学会シンポジウムについては、下記の要領により、ハイブリッド形式での開催を予定しています。

日本水環境学会50周年特別企画、各研究委員会のセッション、メタウォーター賞受賞者講演、大学院博士後期課程の研究奨励を目的とした若手研究紹介（オルガノ）セッションなど、多彩な企画が用意されています。

非会員の方の参加も可能です。多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

1. 概要

2022年9月6日（火）～7日（水）

会場 東京大学本郷キャンパス（現地参加・オンライン参加のハイブリッド開催を予定）

内容 50周年特別企画、各研究委員会等の主催による

セッション、若手研究紹介（オルガノ）セッション、メタウォーター賞受賞者講演ほか。懇親会は開催しません。

講演集形式 ダウンロード版および冊子版として提供します。冊子版不要の場合は参加費が減額されます。冊子版の講演集の現地での受け取りができなかった方には開催後にお送りいたします。

2. 内容

若手研究紹介（オルガノ）セッション（発表審査）

6日（火）午前

年間優秀論文賞（メタウォーター賞）受賞者講演

7日（水）13:30～14:10

日本水環境学会 50周年特別企画

7日（水）14:30～17:00

表彰式・閉会式

7日（水）17:00～

研究委員会セッション

6日（火）午前（9:00～12:30）

環境リスク把握のためのMS技術の進展と活用

（MS技術研究委員会）

水環境における農薬の生態リスク評価の現状と今後の課題（バイオアッセイによる安全性評価研究委員会）
膜による事業継続を考える ～膜と生きる～

（膜を利用した水処理技術研究委員会）

地球温暖化を巡る水環境の現状・課題と対応

（熱帯・亜熱帯地域水環境研究委員会・汽水域研究委員会）

6日（火）午後（13:30～17:00）

微生物の代謝フロンティア

（微生物生態と水環境工学研究委員会）

流域の水物質動態と社会・生態系の関わりの探究

（流域物質動態とノンポイントソース研究委員会）

農産業に関わる水・バイオマス利用の技術とシステム（農産業に関わる水・バイオマス循環技術研究委員会）

水供給システムにおけるリスク及び不確実性とその対応策

（将来の水環境変化に対応した水供給システム研究委員会）

地域からの発信～水環境研究で明らかになった新事実～

（地域水環境行政研究委員会）

マイクロプラスチック研究の最前線、分析手法の最前線

（マイクロプラスチック研究委員会）

7日（水）午前（9:00～12:30）

脱炭素社会構築に寄与する嫌気性技術の貢献と課題

（嫌気性微生物処理研究委員会）

プラスチック社会と身近な水環境を振り返る

（身近な生活環境研究委員会）

微生物学的水質情報を活用した水環境・衛生管理の最前線

（水中の健康関連微生物研究委員会）

水環境分野における紫外線応用の新知見

（紫外線を利用した水処理技術研究委員会）

2030年を見据えた産業排水の処理・回収技術

（産業排水の処理・回収技術研究委員会）

環境エンジニアリングにおける電気化学的技術

（電気化学的技術研究委員会）

7日（水）午後（13:30～17:00）

生物処理生態工学技法の高度効率化による環境再生保全と流域適正管理

（生物膜法研究委員会）

湿地・沿岸域の今と未来（湿地・沿岸域研究委員会）

3. 参加申し込み案内

オンライン参加、現地参加にかかわらず、事前の参加登録（予約申し込みとご入金）が必要です。当日申し込みはできませんので十分ご注意ください。研究発表を申し込まれた方も、必ず事前の参加登録が必要です。なお、学生会員とは、申込時点で本会の本年度の学生会員として登録を済ませた方を意味します。

なお、キャンセルポリシーについてはhttps://www.jswe.or.jp/pdf/JSWE_cancellation_policy.pdfをご覧ください。

また、現地参加については、別途通知する感染拡大防止対策の遵守をお願い申し上げます。

(1) シンポジウム参加費（事前の参加登録のみ）

	正会員（不課税）	4,500円
参加費なし （冊子版なし）	学生会員（不課税）	2,000円
	非会員	一般（課税、税込み）
学生（課税、税込み）		7,000円
参加費あり （冊子版有）	正会員（不課税）	5,500円
	学生会員（不課税）	3,000円
	非会員	一般（課税、税込み）
学生（課税、税込み）		8,000円

「冊子版有り」で申し込まれ、現地での受け取りができなかった方には、開催後に冊子版講演集をお送りします。

(2) 申込方法と期限

下記のWEBページにある「シンポジウム参加申込」からお申し込みください。申込期限は8月22日（月）です。また、参加費は8月26日（金）までに指定口座に振り込んでください。ご入金が確認できない場合は、申込みがキャンセルされますのでご注意ください。なお、お振込後、入金が確認できるまで銀行振込で1～3日、郵便振替（ゆうちょ銀行への振込を含む）で2～8日かかることがありますので、余裕をもってご送金ください。
<https://www.jswe.or.jp/event/symposium/>

WEBからの申し込みができない方は、下記の連絡・問い合わせ先にご連絡ください。

(3) 振込先

振込人名義に申込番号も記載してください。名義が異なる場合や申込番号が記載できない場合は、必ず別途ご連絡をお願いします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行市ヶ谷支店
普通預金 口座番号：4948527
名義：シャ)ニホンミズカンキョウガツカイ
郵便振替※：00180-5-564127
加入者名：(公社)日本水環境学会
※通信欄に申込番号を記載してください。

(4) 参加証/講演集引換券の送付

ご入金を確認後メールにてお知らせします。また、そのメールにオンライン開催およびダウンロード版講演集に関する情報へのアクセス方法が記載されています。

4. 連絡・問合せ先

公益社団法人日本水環境学会 シンポジウム係
東京都江東区常盤2-9-7 グリーンプラザ深川常盤201号
Tel：03-3632-5351 Fax：03-3632-5352
E-mail：nenkai@jswe.or.jp

第31回市民セミナー【学会設立50周年記念事業】 スマホ等身近なツールでできる環境研究と環境学習

スマホに代表されるスマートデバイスは私たちの生活を大きく変化させました。これは、日常生活についてだけでなく、研究や教育の分野でも同様で、スマホやタブレット端末は汎用の環境モニタリングツールとして、またデータの解析・共有、さらには学習ツールとして重要な役割を担っています。また、これらのデバイスは新しいアプリや付属デバイスの開発等により、さらなる発展の可能性を秘めた大変魅力的なツールです。今回の市民セミナーは、スマートデバイスを応用した水環境に関する研究や教育の事例を紹介し、新しい形の水環境研究・教育さらには市民科学について議論を深めることを意図して企画しました。とくに若い世代の皆さんのご参加を期待しています。

主催 日本水環境学会
後援 全国環境研協議会(予定)
期日 2022年8月10日(水)13:00~17:00(予定)
参加費 会員無料、非会員3,000円(税込)
高校生以下無料
場所 Zoom オンライン
(動画配信)後日、参加申込者を対象に2日間限定でオンデマンド配信(予定)

プログラム

13:00~13:10 開会挨拶
13:10~14:00 ICTを用いた市民科学のイノベーション：その意義と活用方法とは？
東京都市大学 小堀洋美
14:00~14:50 スマホアプリを用いた市民参加型の生物多様性モニタリングへの展望
株式会社バイオーム 藤木庄五郎
14:50~15:10 休憩

15:10~16:00 身近な水辺を知る・共有する・関心を高める~水辺へGo!を活用しよう~
株式会社日水コン 清水康生

16:00~16:30 総合討論

16:30~16:40 閉会挨拶

詳細は次号以降でご案内予定です。

問い合わせ先

(公社)日本水環境学会 セミナー係
〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7
グリーンプラザ深川常盤201号
Tel：03-3632-5351 Fax：03-3632-5352
E-mail：seminar_info@jswe.or.jp
URL：https://www.jswe.or.jp/

第27回地下水・土壌汚染と その防止対策に関する研究集会

本研究集会は地下水・土壌汚染の実態・原因・経路の調査から、汚染物質の移動機構の解明、汚染による影響やリスクの評価、汚染の防止対策・修復技術・修復評価、地質等に起因する自然由来の汚染や放射性物質による汚染に関する国内最大規模の研究発表会として、地下水・土壌汚染問題の様々な課題について研究成果や事例発表、意見交換、技術交流、情報収集、人材育成や学習の場としての機能を果たして参りました。これまで毎年、100件を超える研究発表等や特別講演、企業展示などが行われ、大勢の方々のご参加をいただいております。

このたび第27回の研究集会を下記のとおり開催することとなりました多くの皆様に、ご発表やご参加をいただきますようご案内申し上げます。

主催 日本地下水学会、日本水環境学会、廃棄物資源循環学会、地盤工学会、土壌環境センター

期日 2022年6月23日(木)~6月24日(金)

場所 横須賀市文化会館(神奈川県横須賀市深田台50)

内容(予定) 口頭発表とポスター発表とを組み合わせた研究発表、特別講演、企業展示、懇親会

詳細URL <http://gepc.or.jp/kenkyu/index.html>

問い合わせ先

第27回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会事務局 担当：木下(kinoshita@gepc.or.jp)

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSビル3階

(一社)土壌環境センター内

Tel：03-5215-5955 Fax：03-5215-5954

※内容は変更になることもありますので、土壌環境センターのHPで必ずご確認ください。

山本和夫 東京大学名誉教授 Lee Kuan Yew Water Prize 受賞記念講演会

主催 金沢大学 地球社会基盤学類 環境リスク制御工学分野

共催 日本水環境学会 膜を利用した水処理技術研究委員会

日時 2022年6月24日(金) 15:30-17:00

場所 金沢大学自然科学本館レクチャーホール(石川県金沢市角間町)およびZoomによるハイブリッド開催

参加費 無料

参加申込 下記 URL よりお申し込みください

<https://forms.gle/2LxGbQRhvYP98DEd6>

問い合わせ先 金沢大学地球社会基盤学系 本多 了

〒920-1192 石川県金沢市角間町

Tel: 076-264-6393

E-mail: rhonda@se.kanazawa-u.ac.jp

**第24回日本水環境学会
流域物質動態とノンポイントソース研究委員会
「ワークショップ in 京都・芦生演習林」**

主催 日本水環境学会 流域物質動態とノンポイントソース研究委員会

期日 2022年9月1日(木)～3日(土)

場所 京都府南丹市ほか

スケジュール

9月1日(木)

12:30 JR 二条駅集合

午後: フィールドワーク (I) 日吉ダム見学

夜: ワークショップ

9月2日(金)

午前: フィールドワーク (II) 京都大学フィールド科学教育研究センター 芦生研究林 見学ツアー

午後: 美山茅葺きの里 見学

夜: 講演会とディスカッション

9月3日(土)

午前: 京都北山杉の里総合センター訪問・見学

13時頃 JR 二条駅 or 京都駅にて解散

※新型コロナウイルス感染拡大状況により中止または延期とする可能性があります。

※スケジュールは今後変更になる可能性があります。

※見学施設等へは貸し切りバスで移動します。

参加費 社会人 13,000 円 学生 7,500 円 (予定。資料代・現地交通費等。宿泊費, 昼食費, 懇親会費別)

宿泊費 芦生山の家 (9/1, 2): 18,000 円程度 (2泊, 朝食・夕食込, 実費徴収)

申込締切 2022年7月15日(金)

※詳細 URL から申込用紙をダウンロードして必要事項記入後, 下記までご連絡ください。

定員 30名

詳細 URL <http://www.jswe-nonpoint.com>

申込・問合せ先

西村文武 (京都大学大学院工学研究科附属流域圏総合環境質研究センター)

Tel: 077-527-6225

E-mail: nishimura.fumitake.3n@kyoto-u.ac.jp

佐藤祐一 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

Tel: 077-526-4044 E-mail: sato-y@lberi.jp

IWA 関連行事

**World Water Congress & Exhibition 2022
Copenhagen**

期日 2022年9月11日(日)～15日(木)

場所 デンマーク, コペンハーゲン

詳細 URL www.worldwatercongress.org

**11th IWA International Symposium on Waste
Management Problems in Agro-Industry
(AGRO' 2022)**

主催 The International Water Association

期日 2022年10月26日(水)～28日(金)

場所 Gdańsk University of Technology
(Gdańsk, Poland)

プログラム

①畜産からの廃水・廃棄物の処理と利用, ②農業地域からの汚濁流出とその制御, ③農業地域の水・廃棄物の革新的管理システム, ④農業関連産業における気候変動の緩和・適応策, ⑤土壌浄化・管理, ⑥廃水・廃棄物の生物学的/化学的処理, ⑦栄養塩除去および回収, ⑧高度処理プロセスおよび革新的技術の適用, ⑨持続可能なバイオマスエネルギー創出と資源回収の新たな潮流, ⑩環境への負荷と対応策, ⑪汚泥安定化・利用・処分, ⑫サーキュラーバイオエコノミー, ⑬農業関連産業における欧州グリーンディール

参加申し込み方法 詳細 URL から申し込み

参加費 €450 (IWA 会員の早期受付, 2022年8月31日(水)まで)

詳細 URL <https://iwa-agro2022.org/>

問い合わせ先

E-mail: contact@iwa-agro2022.org

他学会関連行事

第46回基礎化学工学演習講座 (第1,2クール)

主催 化学工学会東海支部

協賛 日本水環境学会ほか

期日 第1クール 2022年7月21日(木)・22日(金),
第2クール 7月25日(月)～27日(水)

場所 オンライン開催

プログラム

第1クール 化学工学入門, 第2クール (化学工学基礎・拡散, 流動, 伝熱)

各クール単位からお申し込み可能です。初学者, 基礎から応用を学びたい方対象。詳細は, 詳細 URL をご覧ください。

申し込み方法 詳細 URL からお申し込みください。

参加申込締切 詳細 URL をご覧ください。

参加費 第1クール: 共催・協賛団体会員 25,000 円, 第2クール: 共催・協賛団体会員 35,000 円, そのほか必要に応じてテキストの別途お申し込みを受け付けます。

詳細 URL <http://scej-tokai.org/>

問合せ 公益社団法人化学工学会東海支部

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学生命・応用化学科化学工学研究室内

Tel: 080-4525-3070

10th International Conference on Acid Deposition, ACID RAIN 2020 ~The Future Environment and Role of Multiple Air Pollutants

主催 ACID RAIN 2020 組織委員会 ほか

共催 国際森林研究機関連合 (IUFRO) ほか

後援 日本水環境学会 ほか

期日 2023 年 4 月 17 日 (月) ~21 日 (金)

場所 朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター
(新潟県新潟市中央区万代島 6 番 1 号)

要旨投稿期間 2022 年 5 月 1 日~8 月 31 日

参加申込締切 2022 年 9 月 30 日 (早期)
2023 年 1 月 31 日 (最終)

参加費/申し込み方法/プログラム

詳細は以下の URL をご参照ください。

詳細 URL <https://www.acidrain2020.org/>

問い合わせ先

AR2020 事務局 Email: ar2020jp@acap.asia

おしらせ

年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成 (クリタ賞国際会議発表助成) 2022 年度候補者の募集

過去の年会優秀発表賞 (クリタ賞) 受賞者が研究者・技術者として一層の飛躍をするために, 本学会または International Water Association が主催または共催する国際会議 (日本国内での開催会議も含む) への参加・発表を助成します。

助成が認められた発表予定の国際会議が COVID-19 の影響により延期になった場合は, 対象期間後の開催になっても助成資格が維持されます。

応募資格 本会個人正会員または学生会員 (2022 年度)

で以下の条件を満たす者

- 1) 大学院修士課程または博士前期課程を修了した過去のクリタ賞受賞者
- 2) 年齢が 40 歳未満 (2022 年 4 月 1 日時点)
- 3) 大学院, 教育研究機関, 公的機関で実施した研究成果を研究実施機関の在籍者の立場で発表すること

助成内容 会議での参加・発表にともなう費用の一部支援 (旅費のみでなく, 参加費, Proceedings や Abstract の英文校閲にかかる費用等も含むことができます)

助成実績 (1 件当たり) 12.5~17.5 万円

対象となる国際会議の期間

2022 年 7 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日 (COVID-19 の影響を考慮し期間を変更することがあります)

応募方法 助成を希望する本人が, 次項の書類を提出すること

提出書類 (書式は自由)

- 応募者の氏名, 所属, 住所, Tel., Fax., E-mail
- 大学卒業後の研究・業務略歴
- 対象とする国際会議の内容が判る資料および申込書 (申し込み時点の口頭, ポスターなど発表形式が記されていること, (案) でも可)
- 発表予定の研究内容を記した書類 (日本語でも可, 発表申込時の abstract など)
- 参加を希望する国際会議における抱負
- 過去 3 年の研究等の業績 (論文, 発表等)
- 助成を希望する費目とおよその見積もり額を示した文書

応募期日 2022 年 6 月 30 日 (木) (COVID-19 の影響を考慮し期間を変更することがあります)

結果通知等 E-mail により採否を通知予定です。授与式などはありません。

ただし, 助成が認められても, 当該発表が採択されなかった場合には, その助成の資格を失います。(次年度以降に別の発表について応募することは可能です)

問い合わせ・書類提出先

(公社) 日本水環境学会 クリタ賞国際会議発表助成 係
Tel: 03-3632-5351

E-mail: kokusai@jswe.or.jp (@は半角に変更)

第 17 回 日本水環境学会関西支部 関西水環境賞, 奨励賞, 社会・文化賞 推薦のお願い

(公社) 日本水環境学会関西支部では, 下記の賞を設け, 水環境に関する優れた成果や貢献, 活動等を表彰します。適切な候補者・団体等をご推薦ください。

関西水環境賞

水環境研究, 水環境技術の開発, あるいは水環境の保全・創造に係る実務に関して, 優れた成果や顕著な貢献をなしたと認められる支部個人正会員, または団体正会員およびこれに所属する個人に授与。

1. 応募方法・資格: 自薦または他薦, 年齢等制限なし。

2. 応募書類：以下の書類を提出ください。
 - a. 推薦書：関西支部ホームページ
(<http://www.jswe-kansai.com/>) より所定の推薦書様式をダウンロードし、水環境に関する研究（様式 A）、水環境技術の開発（様式 B）、水環境の創造保全に関する実務（様式 C）の中から該当する業績を1種類選択し、必要事項を記載。A4用紙2ページで提出。
 - b. 関連資料：論文、総説、ノート、報告、発表要旨、雑誌、書籍、特許、カタログ等
3. 提出方法：推薦書と関連資料は原則 PDF 化し、元の XLS ファイルと共に CD に書き込むと同時に各1部印刷し、PDF 化し難い資料等1部とともに郵送。
4. 締め切り：2022年8月26日（金）＜必着＞
5. 提出先：近畿大学薬学部医療薬学科
川崎直人（選考委員長）
〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
E-mail：kawasaki@phar.kindai.ac.jp

奨励賞

水環境研究、水環境技術の開発、あるいは水環境の保全・創造に係る実務に関して、独創的・特徴的な成果や貢献を有し、将来を期待される当該年度4月1日の時点で45歳以下の支部個人正会員、または団体正会員に所属する個人に授与。

1. 応募方法・資格：原則他薦、2022年4月1日時点で45歳以下。
2. 応募書類・提出方法・締め切り・提出先：関西水環境賞と同じ。
3. 受付後、被推薦者には別途調書を提出していただきます。

社会・文化賞

関西地域で水環境の保全・創造に関する社会・文化活動が顕著な団体または個人に授与。

1. 応募方法・資格：自薦または他薦、年齢等制限なし。当学会の会員・非会員を問わない。
2. 応募書類：以下の書類を提出ください。
 - a. 推薦書：関西水環境賞と同じ。ただし A4 用紙 1 ページで提出。
 - b. 関連資料：対象の社会・文化活動や経理状況がわかる資料等
3. 提出方法：関西水環境賞と同じ。
4. 締め切り：2022年8月26日（金）＜必着＞
5. 提出先：（地独）大阪健康安全基盤研究所
森ノ宮センター
新矢将尚（選考委員長）
〒537-0025 大阪市東成区中道1-3-69
E-mail：symnk3@gmail.com

受賞講演と水環境文化賞への推薦について

各受賞者には関西支部総会（本年12月上旬～中旬を予

定）において受賞講演をお願いいたします。また、社会・文化賞に推薦された団体は、当学会の水環境文化賞に支部から推薦させていただく場合があります。

島津科学技術振興財団 2022年度島津賞候補者の推薦について

- 当会受付締め切り** 2022年6月20日（月）（必着）
- 表彰の対象** 科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究及び応用・実用化研究において著しい成果を上げた功労者。推薦依頼学会からの推薦が必要。
- 表彰内容** 被表彰者1名に賞状、賞牌、副賞500万円
- 応募方法** 下記詳細 URL より申請書をダウンロードし、日本水環境学会より推薦書を送付
- 決定期間** 2022年12月中旬
- 詳細 URL** <https://www.shimadzu.co.jp/SSF>
- 問い合わせ先**
（公財）島津科学技術振興財団 事務局
Tel：075-823-3240 Fax：075-823-3241
E-mail：ssf@zaidan.shimadzu.co.jp

島津科学技術振興財団 2022年度島津奨励賞候補者の推薦について

- 当会受付締め切り** 2022年6月20日（月）（必着）
- 応募資格** 国内の研究機関に所属する45歳以下の研究者。推薦依頼学会からの推薦が必要。
- 表彰内容** 被表彰者3名以下、トロフィ、副賞100万円
- 応募方法** 下記詳細 URL より申請書をダウンロードし、日本水環境学会より推薦書を送付
- 決定期間** 2022年12月中旬
- 詳細 URL** <https://www.shimadzu.co.jp/SSF>
- 問い合わせ先**
同財団 2022年度島津賞候補者の推薦と同じ

島津科学技術振興財団 2022年度研究開発助成の募集

- 募集期間** 2022年7月31日（日）（消印有効）
- 応募資格** 国内の研究機関に所属する45歳以下の研究者
- 助成金額** 総額2300万円以下
- 応募方法** 下記詳細 URL より申請書をダウンロードし、直接応募（所属長の承認必要）
- 決定期間** 2022年12月中旬
- 詳細 URL** <https://www.shimadzu.co.jp/SSF>
- 問い合わせ先**
同財団 2022年度島津賞の推薦と同じ

遠山椿吉記念 第8回食と環境の科学賞

日本の公衆衛生において、人びとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点を持ち、地道

に社会貢献を追及する研究者（個人および研究グループ）を顕彰する賞です。

対 象 日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ

応募書類 所定の応募・推薦用紙，受賞候補者略歴，業績一覧，原著論文

受付期間 2022年6月30日（消印有効）

副 賞 賞金300万円

※詳細は下記HPをご覧ください。

提出先

一般財団法人東京顕微鏡院公益事業室「遠山椿吉賞」
運営事務局

〒102-8288 東京都千代田区九段南4-8-32

Tel：03-5210-6651

URL：<https://www.kenko-kenbi.or.jp>

りそなアジア・オセアニア財団 2023年度アジア・オセアニア研究助成

A. 調査研究助成 アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等の人文・社会科学分野の調査・研究活動へ助成します。（若手研究者育成を目的としたプログラム）

B. 国際学術交流助成 アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等に関する国際会議・シンポジウムの開催を支援します。

C. 出版助成 アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等の調査研究成果にかかるとの出版物の刊行を支援します。

応募資格（A、B、Cとも）日本の※大学または研究機関等に所属する方からの推薦が得られる個人 ※原則教授，所属長，責任者クラスの方

ほか Aのみ年齢制限あり。原則として2023年4月1日現在で満39歳以下の方。共同研究の場合は代表者（申込者）の年齢。

応募要領 詳細URLを参照ください。

詳細URL <https://www.resona-ao.or.jp/>

応募締め切り 2022年7月29日（金）（必着）

問い合わせ 公益財団法人りそなアジア・オセアニア財団
E-mail：info@resona-ao.or.jp

りそなアジア・オセアニア財団 2023年度りそな環境助成

対象事業 アジア・オセアニア地域において、現地活動者と協働して現地の環境問題解決へ取り組む草の根的な実践活動。

実践活動とは、自然再生活動，自然環境保全活動，自然との共生活動，それらに付随する教育活動などを指し，自立的かつ持続的な活動への展開が見込めるもの。

応募資格

1. 日本において環境保全活動や国際協力活動を行う団体・会社・大学等に所属する者，もしくは海外で環境保全活動や国際協力活動を行う日本人。
2. 活動地域において事業遂行が可能な相応の活動経験と実績がある者，もしくは年齢が35歳以下で相応の活動経験等がある者の指導を受けることができる者。
3. 活動地域である現地において，当該事業活動の共同事業者（協力者）がいる者。

※いずれの要件も満たしている必要があります。応募回数の制限はありません。

応募要領 詳細URLを参照ください。

詳細URL <https://www.resona-ao.or.jp/>

応募締め切り 2022年8月31日（水）（必着）

問い合わせ 2023年度アジア・オセアニア研究助成と同じ

JST 戦略的創造研究推進事業 CREST における フランス ANR との日仏共同提案募集案内

科学技術振興機構（JST）は，戦略的創造研究推進事業 CREST の2022年度の公募において，フランス国立研究機構（ANR）と連携し，2つの研究領域にて日仏共同提案を募集いたします。※ANRの申請受付期間は，JST（CREST）より早いのでご注意ください。

詳細URL https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian/top/info/info_220221.html

問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

戦略研究推進部

E-mail：rp-info@jst.go.jp

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は，国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム（J-STAGE）」に掲載しています。<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>